

公表

## 事業所における自己評価結果

児童発達支援

事業所名	プログラミング療育放デイ エスタシオン木更津教室
------	--------------------------

公表日 2026年 3月 31日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	1		利用定員の可能なスペースでのサービス提供を行っている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	5	0	・常に児童や職員数に留意して配置している。 ・日々のコミュニケーションを積み重ね利用者が1人で活動することがないように、職員間で連携し臨機応変に対応している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になるか	2	3	7	安全面については常に職員が近位にて見守りができる配置にすることで安全面においても適切に支援できるようにしている。	ハード面の環境改善に向けて引き続き協議を重ねていく。
業務改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	5	1	役職や経験年数等問わず、職員全員で意見を提案しやすい環境づくりを心掛けている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	2	0	評価表を基に業務改善を行っている。	改善点について、より早く着手できるように協議を進めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	3	0	自己評価等についてホームページに公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	2		状況を見て今後検討をしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	3	0	定期的な研修のほかに、サービスの質の向上に向けて職員間の情報共有する機会を多く設定している。	研修内容について、偏りが出ないように様々な内容の研修に取り組んでいく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1	0	利用者の普段の様子や教室の活動の状況や課題感等を共有しながらアセスメントを行うことでより精度の高い計画がなされるように努めている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	4	0	子どもの発達段階や生活環境に合わせたアセスメントツールを用いることで、客観的かつ多角的に適応行動を把握している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	職員間で情報共有できる機会を多く設定し、意見を出しやすい環境を築くことで活動内容のアップデートをはかっている。	活動内容について偏りが出ないように常に多角的な視点で持って協議していく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	3	0	毎週ミーティングを行い、支援内容の情報を共有してプログラムの選定を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	6	1		季節やイベントに応じた活動を立案し実施していく。また、長期休みシーズンにイベントを計画していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	2	0	SSTの為に小集団活動やプログラミング活動とを組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	利用者やその他の共有事項を確認し、毎日の支援へと繋がるように努めている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	1	1	サービス提供記録を取り必要な情報の共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	2	0	マニュアルもとに統一された方法で記録が出来るようにしている。各記録をもとに職員間で情報共有することでサービスの改善に向けている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	0	半年に一度は、モニタリングとアセスメントを行い計画書の見直しを行っている。		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	9	3	0		状況を見て今後検討をしていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2	1		状況を見て今後検討をしていく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	4	1		状況を見て今後検討をしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	4		医療的ケアを受け入れる際は各機関と密に連携を取ることで支援体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	6	2		状況を見て今後検討をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	4	4		保護者様より移行支援のご希望があれば対応していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	3		状況を見て今後検討をしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	6		プログラミングのイベントを定期的に行なっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	5	4		状況を見て今後検討をしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	送迎時やHUGのサービス提供記録でお子様の様子をお伝えし、相談がある時は随時面談が出来る体制を整えている。	保護者への伝達方法について偏りが出ないように統一された方法でもって共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	5	0	定期的に保護者と情報共有できる機会を設定し、相談を受け助言する場を提供している。また、定期的にご家族参加型のイベントを企画していくことでサービスの透明化を図っている。	
保護者への説明等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	利用契約時に説明を行なっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	1	0	定期的に保護者と情報共有できる機会を設定し、相談を受け助言する場を提供している。また、利用日の送迎時間を利用して適宜情報共有を行っている。	ご家族のご要望に応じて適宜面談の提案ができる体制を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	4	保護者参加型のイベントを企画し、交流の場を提供している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0	保護者から相談しやすいように、帰宅時にその日の活動の様子をお伝えし面談が必要な時は、相談できる体制を取っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4	0	定期的にSNSなどに掲載し、活動概要や行事予定の情報提供をしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	個人情報の保護に対して十分に気を付けております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	口頭説明のほか、メール等の情報共有ツールにて文章での情報伝達を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	3		今後は状況を見て計画検討していく。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2	0	各マニュアルについて、玄関周辺にファイル配置し周知を図っている。定期的に職員や利用者を含めた訓練を実施している。	各マニュアルの掲示方法についてホームページや情報共有ツール等を活用して電子化を進めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	1	0	業務継続計画書(BCP)を作成しスケジュールを組んで研修や訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	1	0	定期的に虐待防止ミーティングを行い、定期的にチェックリストで確認を行っている。	

	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	1	0	組織的に規定を決め契約時に保護者へ事前に説明している。	
非常時等の対応等	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1	4	契約前にアセスメントをとりアレルギーなどの情報を確認している。	
	43	改善目標や日々の業務で工夫している点など	12	0	0	サービス提供前にスタッフ間で、その日の活動、役割分担、児童についての注意事項について共有している。	サービスの質の向上の為に会社や事業所全体で意見交換しやすい環境等を構築していく。

。